

会議録

会議の名称	西東京市図書館協議会平成24年度第4回定例会
開催日時	平成25年3月28日（木曜日）午後3時00分から5時00分まで
開催場所	田無公民館会議室
出席者	委員：小西委員、谷関委員、富川委員、吉田委員、服部委員、鈴木委員、大澤委員 事務局：奈良館長、中村副館長、吉野庶務係長
傍聴者	1名
議題	1 諸報告 2 電子書籍について
会議資料の名称	資料1 西東京市図書館における 電子書籍のあり方について 資料2 貸出におけるカウンター・自動貸出機の割合 資料3 図書館における電算システムの導入による利用者サービス及び財政的効果について
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会議内容	
○会長： 図書館協議会第4回定例会を始めさせていただきます。最初に館長から諸報告をお願いします。 ○館長： 最初に、3月21日から25日まで行われた予算特別委員会の報告をさせていただきます。 4人の委員から「雑誌のカバー広告の実施について」「緊急雇用創出事業について」「施設の総合管理について」の質問がありました。 次に、図書館の人事ですが、この3月末で職員が1人退職いたします。 次に、「図書館における電算システムの導入による利用者サービス及び財政的効果について」の資料ですが、これは、地域情報化計画の2期目の作成のため、策定審議会の委員が視察した際に配布したものです。 ○会長： 館長から、「予算特別委員会の報告」「図書館の人事について」「図書館における電算システムの導入による利用者サービス及び財政的効果について」の報告がありました。 何か質問はありますか。 ○会長： 嘱託職員が集会事業（おはなし会等）で参加しているのはどの館ですか。	

○副館長：

どの館も参加しています。

○委員：

それでは、次の議題の「電子書籍について」にいきたいと思います。

委員から説明していただきたいと思います。

○委員：

「電子書籍について」説明

はじめに

1 電子書籍の現状

電子書籍とは何か。

電子書籍の歩み。

電子書籍の現在。

2 国・自治体の取り組みから政策関連

国レベル

国立国会図書館

東京都立図書館協議会

3 公立図書館の取り組みから先行事例

岩見沢市立図書館ほか

4 電子書籍導入にあたって考慮すべきメリット・デメリット

電子書籍に期待できる点（メリット）

電子書籍の課題（デメリット）

5 西東京市図書館における対応から提案

電子書籍導入に関して

西東京市図書館の取り組むべき課題 資料の電子化

（a）図書館資料（地域資料）の電子化

（b）デジタル資料の提供機能の充実

まとめと関連する提案

電子書籍と西東京市図書館の電子化の方向性

紙媒体の保存の重要性と対策

委員説明後、上記の内容について協議

○会長：

それでは、協議の中で確認された点について、訂正・修正等を行った後、各委員が確認して終了ということになります。

これに関しては、以上となります。

○会長：

他に、何かご意見等ありますでしょうか。

○館長

※今年度、第3金曜日の休館日に職員・嘱託員の研修を行ってきました。研修を行うことにより、仕事に関して知識を共有することができ、有意義なものとなりました。

また、谷戸・芝久保図書館については、第3金曜日が休館日ではないので、年に一度くらい時間をつくり、出張し研修を行うことも考えています。

○副館長：

補足ですが、基本的な仕事内容に関しては知識を共有しなくてはならないと考えているので、谷戸・芝久保図書館の嘱託員については、5月ごろに研修を行うことを考えています。

○委員：

最近、若い方が図書館の歴史について知らないと思いますので、そのようなことに関しての研修も考えてはいかがでしょうか。

○会長：

図書館についての講座が増えたら良いと思っています。

また、市民との関係を職員、嘱託員には常に考えていただきたい。

そして、協議会に対する関心をもう少し持っていただきたいと思います。図書館で働いている職員が協議会を認識しないというのはまずいと思います。

○委員：

西東京市の図書館というのは、先輩方がいろいろな意味で育てたものであって、最初から、このような形での図書館であったわけではないことを認識してほしいと思います。

これは作ってきたものであって、職員は市民のためにどのような良い図書館をつかっていくか、自分たちが企画していく立場でありますから、そのことをどう理解させるか、理解していただけるか、ということを考えてほしいと思います。

自分たちの図書館をどうするのかは、自分たちで提案していきます、というようになっていただきたい、そのようなことを、研修を通じて養ってほしいと思います。

○委員：

お話し会ボランティアの件ですが、それぞれの館でやり方が異なるので、統一基準を作成していただきたいと思います。

○館長：

確認してお返事いたします。

○会長：

それでは、時間が参りましたので、第4回定例会を散会したいと思います。

これで、散会いたします。

○館長：

委員の皆様、平成23年の5月から2年間ありがとうございました。

今回で終了となりますが、「電子書籍のあり方」等、立派なものを作っていただき大変感謝しております。本当にありがとうございました。